



THE Y's Men's Club of MISHIMA

No.521
2021 4月
強調：LT・RBM

例会日：毎月第3火曜日 18:30～20:30 三島ワイズメンズクラブ CHARTERED OCTOBER 7.1977
例会場：三島市民活動センター 4F 会議室 三島市本町 3-29 本町タワー

会長 日吉和代 A副会長 青木利治 B副会長 相川毅 書記 光永尚生 副書記 石川敏也 会計 相川毅

主題

三島クラブ会長主題：和・楽で活動を！！（日吉和代） 国際会長：価値観、エクステンション、リーダーシップ（Jacob Kristensen：デンマーク）アジア太平洋地域会長：変化をもたらそう（David Lua：シンガポール）東日本区理事：変化をたのしもう！（板村哲也：あずさ部）富士山部部長：ワイズだから出来ることがある！粋にやろうぜ！富士山部！（伊藤一芳：富士宮）

今月のことば

『あなたはわたしの愛する子。』

マルコによる福音書 1章 11節

この言葉は、イエス・キリストが洗礼者ヨハネから洗礼を受けたときに、天から聞こえてきた言葉である。原文では「あなたは愛する者、わたしの息子として存在している」となっている。「愛されている者」である自分自身を生きるということがイエスの生涯であった。

2021年4月例会：4月20日（火）18:30～ コロナ対策により中止

Happy Birthday

4/09 相川 M
4/25 岡田 Y's

Happy Anniversary

4/29 青木 Y's



ちなみに、東日本区大会の詳細が決定したようです。大会は半日開催で、6月12日（土）の午後、甲府市内の常磐ホテルにて甲府21クラブのホストで開催。形式はハイブリッドで日英同時通訳付き。登録費は無いそうです。なお、西日本区大会は予定通り6月5日～6日に、京都においてハイブリッドで開催されるそうです。

また、来期はハンドブック&ロースターの作成管理方法、掲載内容、発行方法を変更することが決まり、基本的には今までのような冊子での提供はなくなるそうです。

コロナ禍の中、もともと変化を余儀なくされていたものが一気に具体的な形で変化を始めているような気がします。そんな中、どうも三島クラブはまだまだ何かをつかもうとしては手からすり抜けていってしまっている感じがします。

突然ですが、内閣府のホームページに「ムーンショット型研究開発制度」というものがあり、その中に「2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現」「2030年までに、1つのタスクに対して、1人で10体以上のアバターを、アバター1体の場合と同等の速度、精度で操作できる技術を開発し、その運用等に必要な基盤を構築する」という目標が掲載されています。2019年12月18日に作成されたレポートですが、まるでコロナ禍の社会を想定していたかのような内容になっています。人生100年時代と言われる中、10年20年はあっという間です。IT後進国といわれる日本でもこんなですから、はたして世界では想像もつかないようなリモート化が進んでいるのではないのでしょうか？そんな中、YMCAは、ワイズメンズクラブはどのように変化していくのでしょうか？

こんな考えにとらわれてしまうのもコロナのせいで活動を自粛しているからなのか。何よりも今は、早期の活動再開を祈るばかりです。

コロナ禍の中、ワイズメンズクラブのあれこれ

会報・広報委員長 石川 敏也

4月に御殿場クラブの杉山博恵ワイズと杉山将己ワイズが休会復帰をされてたり5クラブ9名が増え、東日本区全体で843名となり、期初（830名）からの増加人数は13名となったそうです。クラブの例会をリモートやハイブリッドで開催したり、諸活動を感染対策を講じ様々な工夫をして実施したり、仲間や地域の人たちとの絆を深める努力をしてきた結果であろうと東日本区理事の板村哲也ワイズ（東京武蔵野多摩）はおっしゃっています。「これらの活動経験や新しいスキル、ノウハウはコロナが終息し平常時に戻った後も間違いなくワイズの発展に役立つものと確信しています（板村東日本区理事）」というように、三島クラブもそろそろ、コロナに手を拱っているばかりでなく、何らかの活動を始めなきゃいかん！と思う次第です。

2021年4月 第10回 役員会議事録

日時：2021年4月6日(火) 19:00～20:30
 場所：各自 ZOOM により参加
 出席：9名中8名(相川ワイズ事務所：日吉会長○、相川B副会長○、藤田●、渡邊○、石川○)(ZOOM：大村○、岡田○、福田○、光永○)計8名+大村メネット

協議事項(日吉会長/光永書記)

■議題：次次期富士山部長推薦の件▶伊藤部長に対して、3クラブでの協議を経て、御殿場クラブの前原ワイズを、次次期富士山部長に推薦する旨、報告し内諾を得たが、長田ワイズが推薦委員長なので、日吉会長からの連絡を入れていただくことを確認した。→承認

■議題：4月例会の件▶4月の例会開催については、当初、開催という計画を立てて準備に入る予定であったが。感染防止拡大制限や、今後の緊急事態宣言発動の見込みを鑑みて、会員の総意としての開催に至らず、開催を見送ることとなった。開催に向けては、食事の有無、会場の予約、他のクラブの開催状況、その他を検討材料とするが、基本的には会員の総意に基づく。ただし、これまでの一年間はおも、ワイズメンズクラブとしての活動自体の停滞は弊害とを感じる会員がほとんどであるため、まずは、6月の開催を目処として、6月15日に向けた準備を進めることとする。緊急事態宣言等の発令がある場合には、再度、検討を行うこととなる。

■議題：区大会参加の件▶東日本区大会は、甲府市常盤ホテルを本部として、ハイブリット開催が決定した。そのため、現地集合ではなく、オンラインによる開催となっているので、三島クラブとしては、全員参加を目指して、登録を行っていく。そのうえで、参加方法なども含めて、5月の役員会で詳細をつめていく。市民活動センターの予約はすでにはいっており、使用ができないので他の方法での参加を模索する。

■議題：ロースター▶2021-22の東日本区ロースターの冊子作製は、全体では行わないことの協議が進んでいる。希望クラブ、個人への印刷という手段はこのころ。

原則としてはデータでの作成となるため、三島クラブの方向性も含めて、次回の役員会で決定する必要がある。

■議題：次回役員会・例会▶次回役員会日程は、5月10日(月)19:00～20:30とする。相川ワイズ事務所での開催をお願いするため、参加希望者は、出席と合わせて、相川ワイズ事務所での参加希望も、書記までお知らせいただき、相川ワイズに事前をお願いすることとなる。次回の例会開催は、6月15日の開催を目指してドライバー委員と合わせて準備していくが、役員会での協議を経て最終的に進める。

各委員会等の報告(各委員長・担当)

■静岡 YMCA 連絡委員：静岡 YMCA 総会への出席または委任状の提出は、4月30日を日処に、すでに会員に対して郵送されている用紙により提出の依頼があった。

くまモンおじさんのプラタモリ紀行《三島クラブ編》

プラタモリで放送された場所で、くまモン光永が訪れた場所をシリーズで「プラタモリ紀行・三島クラブ編」としてお届けいたします。お楽しみに!



第9回【海外編始動】第3弾セントルイス・テネシー in USA(3回シリーズ)

「アメリカは都会と田舎が隣り合わせ」

さて、都会の生活にも慣れたころ、シカゴからサンノゼまで続く、有名な「ルート66」に沿って南下する旅に出ました。向かう先は、ミズーリー州のセントルイスです。ここには、西部開拓時代を彷彿させる西部への入り口の ARCHがあります、近くには世界一の長さのミシシッピー川が流れ、いろいろな思いにふけりました。大リーグのセントルイスカーディナルスには、田口壮選手が在籍し、ワールドシリーズを制したことは、記憶に新しいですね。セントルイスYMCAは、グレーターと呼ばれる全米の大規模なYMCAのひとつですが、車で2時間ほど山の中に入っていくと、「全米でも最大規模を誇るCamp Ozarks」別名、トラウトロッジ(Camp Lakewood)がありました。

今回は、2週間滞在し、アメリカでのキャンプを学びましたが、名前の通り、人口の湖を創り、その横に5階建ての大きなロッジ、近隣にはゴルフ場までありました。また、様々なアクティビティができ、2週間があつという間に過ぎました。子供たちも、このようにして自然の中で過ごすのだらうと思いました。一路、ミズーリー州を後に、南部に近い、テネシー州のナッシュビルに移動しました。ここではね1か月の間、元フロリダYMCA総主事、テネシーYMCA総主事で、「ミスターインターナショナル」と呼ばれるほど、国際事業に貢献した、Mr. Adrian Moodyのご自宅にホームステイをさせていただきました。この1か月は、私にとって、生涯忘れられない出会いと、経験を積みさせていただき、今の自分の価値観や、知識習得など、いろいろな影響を受けた期間となりました。この間は、毎週日曜日に大勢のアメリカ人とともに教会に行き、たまに違反でしたが、巨大な車を運転し、アメリカ式の食材を買い出しするなどの生活をしました。また、現地滞在の日本人の皆さんとの交流や、車で6時間かけて訪問した、ノースカロライナ州のブルーリッジアッセンブリーなど、日本とは違うカンファレンスに参加したことも、今も励みとなっています。あの、夜に見た満点の星空は今も忘れられません。アメリカの田舎暮らしも、その想いでは、私の中で今も生きています。ちなみに、南部の英語は、Southernといまして、こちらも私の熊本弁的英語に生きています。



ゲートウェイ・リージョン(セントルイス)YMCAのキャンプトラウトロッジに1週間滞在。

アメリカ横断あこがれのドライブコース「ルート66」：サンタモニカ→セリグマン→アルバカーキ→アマリロ→セントルイス→スプリングフィールド→シカゴ

在籍者	9名	メネット	1名	スマイル累計	14,000円
出席者	8名	ゲスト	0名	プラタブ	0g
出席率	89%	ビジター	0名	プラタブ累計	0g
メーキャップ	0名	総出席数	9名	古切手	0g
修正出席率	89%	スマイル	0円	古切手累計	0g



西部開拓時代、出発地点としてゲートウェイ・アーチがそびえています。パドワイザー本社、アメリカ初のオリンピック開催地、大手航空機、ハイテク会社などで、一時は隆盛をほこっていたが、今は、犯罪増加や人口減少などに直面。



三島ワイズメンズクラブ 2021年4月号プリテン

<発行:会報・広報委員会(石川敏也・相川毅)>掲載内容に関することは ☎090-3566-6494(石川)まで、気軽にお問い合わせください。